

共用品推進機構だより 2016年06月03日(09)

目次

(43) 共用品推進機構関連記事

▽「アクセシブルデザインの世界 アクセシブルミーティング／星川安之」

▽「共用品の話 シャンプーのギザギサと柏餅／星川安之」

▽「ブログを更新しました！」

(44) 賛助会員ニュース

▽「紙のカードで健康管理／大日本印刷」

(45) 各種催しとお知らせ

▽「『第33回バリアフリー推進勉強会』開催のご案内」

(46) 製品関連記事

▽「運動機能 手軽に計測／タニタ」

(47) その他、各種関連記事

▽「よくわかる！聴覚障害者への合理的配慮とは？

～『障害者差別解消法』と『改正障害者雇用促進法』から考える～」

(48) 新刊紹介

▽『音に出会った日』

▽『ハーネスをはずして 北海道盲導犬協会の老犬ホームのこと』

▽『イラストでわかるはじめてのインクルーシブ保育

保育場面で考える 50 のアイデア』

(43) 共用品推進機構関連記事

▼「アクセシブルデザインの世界 アクセシブルミーティング／星川安之」

より多くの人が使えらるモノやサービスであるアクセシブルデザインは徐々に広がっている。普及には「アクセシブルミーティング」(みんなの会議)という、障害のある人が参加できる会議のためのガイドライン(JIS S 0042)の考え方と実践が大きく貢献している。通常の会議では参加できない、参加しづらい人もいる。その問題を解決した会議が「みんなの会議」である。

アクセシブルデザインの代表例のシャンプー容器は、目の不自由な人がリンスと識別するギザギザが容器上部と側面に付いている。昨年から登場したのがボディソープ容器のデザイン。側面と上部に付いている一本の凸線である。これは、「みんなの会議」を実践し、そこで決まったルールを日本工業規格(JIS)に反映させた結果である。

「みんなの会議」については、目の不自由な人が参加する場合だけでなく、それ以外のさまざまな考慮事項も、その意味と共に記載されたパンフレットとなり下記のHPで無料で公開している。

<http://www.kyoyohin.org/ja/index.php>

(厚生福祉 4月19日号より抜粋)

▼「共用品の話 シャンプーのギザギザと柏餅／星川安之」

髪を洗う時2つの容器、どちらが「シャンプー」で「リンス」かが分からなかった経験はありませんか？髪を洗う時多くの方は目をつむります。そのため、容器に書かれている文字を読むことは困難。凹凸のない文字を読むことが困難なのは、目の不自由な人たちも同じです。

この不便さは今から26年程前、シャンプーメーカーの花王に届きました。同社はさまざまな試作品を作り、その結果、シャンプーの側面に、ギザギザを付ける案が採用されました。同社が取得した実用新案が無料で公開されたことで、現在、市販されているシャンプーのほぼ全てにギザギザが付いています。

江戸時代、「柏もち」は味噌餡の入った餅に巻く葉は裏を、こし餡は表が上になるように包んだということです。葉の表と裏は、触った感触が違うので、目の不自由な人にも識別することができます。けれど、ルールとして文書化されなかったため、多くの和菓子屋さんには継承されていません。

そうならないため、シャンプー容器のギザギザは、日本工業規格(JIS)

となり、更には、国際標準化機構（ISO）にて、国際規格にもなりました。
（文藝家協会ニュース 4・5月合併号より抜粋）

▼「ブログを更新しました！」

・愛知県・犬山市立犬山中学校の生徒さんに授業
共用品ニュース（ブログ） <http://www.kyoyohin-news.org/>

（44）賛助会員ニュース

▼「紙のカードで健康管理／大日本印刷」

大日本印刷は高齢者向けに毎日の健康状態を記録できるカードを開発した。食事や服薬などの質問項目にボタン操作で答え、毎日の記録を医師が治療や生活指導に生かす仕組み。カードは紙で作り、内部に電子モジュールと電気を通すインキを用いる。スマートフォン（スマホ）等の電子機器の操作が苦手な高齢者が扱いやすく需要が期待できるとみて今秋から販売を始める。
（日経産業新聞 6月2日9面より抜粋）

（45）各種催しとお知らせ

▼「『第33回バリアフリー推進勉強会』開催のご案内」

皆さんは、地下鉄などを利用したとき、暗くてわかりにくい、案内サインが見えにくいと感じたり、逆に眩しいと感じた経験はありませんか。

空間やモノの見やすさは、与えられた光の量を示す「照度」ではなく、目に入る光の量である「輝度」の分布で決まります。暗いからといって、単に照明器具を増やしたりして光の量を増やしても、見やすさはそれほど改善されないのです。一方で、床面と壁の輝度の差を大きくする等の工夫をすれば、コントラストがはっきりして空間全体が見やすくなり、高齢者やロービジョン者等の多様な方が安心して歩行できる空間に近づけることができます。

第33回バリアフリー推進勉強会では、輝度コントラストを用いた照明設計

法の最前線について、東京工業大学の中村芳樹氏をお招きしてお話いただきます。

日時：2016年06月28日火曜日 18:00～20:00

場所：TKP 市ヶ谷カンファレンスセンター カンファレンスルーム 7B

〒162-0844 東京都新宿区市谷八幡町 8 番地 (TKP 市ヶ谷ビル)

アクセスマップ

<http://www.kashikaigishitsu.net/facilitys/cc-ichigaya/access/>

申込方法：

1. ホームページより申し込む。

<http://www.ecomo.or.jp/barrierfree/benkyo/20160628.html>

2. または、会社、所属、氏名（複数ご参加の場合は全員の氏名）、電話番号、メールアドレス、懇親会（会場は当日お伝えします）への出欠、「受講・参加証明書」の有無を記入のうえ、下記メールの宛先に申し込む。

E-mail : kenkyu0628@ecomor.jp

定員：40名（定員になり次第、締切）※参加には事前申し込みが必要。

※なお、手話通訳、事前資料配布等の「情報保障」の必要な方は

6月14日（火）までに情報保障の内容を明記の上、申し込む。

テーマ：利用者が感じる「明るさ」「見やすさ」「眩しさ」の設計

～輝度コントラストを用いた公共空間の視認性評価～

講師：東京工業大学 教授 中村芳樹氏

問い合わせ：

(公財) 交通エコロジー・モビリティ財団

バリアフリー推進部 澤田・高橋

〒102-0076 東京都千代田区五番町 10 番地 KUビル 3F

TEL : 03-3221-6673 / FAX : 03-3221-6674

<http://www.ecomo.or.jp/barrierfree/benkyo/details/20160628.html>

(46) 製品関連記事

▼「運動機能 手軽に計測／タニタ」

タニタは、椅子から立ち上がるだけで脚の筋力やバランス能力を計測できる体重計型の装置を発売した。パソコンなどと接続することで計測データを

分析し、高齢者の運動機能を評価する。

販売するのは「zaRits（ザリッツ）BM-220」。筑波大学と共同開発した。椅子に座り本体に足をのせ立ち上がると、センサーが力強さとすばやさ、安定するまでのスピードを測る。

パソコンに転送したデータを専用アプリケーションで分析し、「パワー」「スピード」「バランス」を3～5段階で評価。同社の業務用体組織計と組み合わせると、全身の筋肉量などの運動機能を総合評価できる。

（日経産業新聞 6月2日14面より抜粋）

（47）その他、各種関連記事

▼「よくわかる！聴覚障害者への合理的配慮とは？」

～『障害者差別解消法』と『改正障害者雇用促進法』から考える～

聴覚障害者にとっての「差別」とは何なのか？

聞こえる人たちが想像する「差別」と、私たち聴覚障害者が実際に体験している「差別」には大きな隔たりが依然としてあります。「聴覚障害者の差別事例と合理的配慮不提供の事例アンケート」から、代表的なケースを抽出し、障害者差別解消法や改正障害者雇用促進法を踏まえ、解説とともに、聴覚障害者が出来ること、相手に対応して欲しいことを整理して提起しています。

体裁：A5判 176ページ

発行：一般財団法人全日本ろうあ連盟

価格：800円（税別）

販売開始日：2016年6月6日（月）

<http://jfd.shop-pro.jp/?pid=102681944>

（48）新刊紹介

▼『音に出会った日』

生後16か月で全聾と診断され、心ない差別やいじめ、数え切れない程の苦難

に立ち向かいながら大人の女性へと成長した著者は、難病で視界も失い始める。そしてついに、人工内耳の手術を受け、初めて「音」に出会う…。

著：ジョー・ミルン

訳：加藤洋子（かとう・ようこ）

発行：辰巳出版

本体価格：1800 円（税別）

ISBN：978-4-7778-1625-5

▼『ハーネスをはずして 北海道盲導犬協会の老犬ホームのこと』

盲導犬たちへの最後の贈りものとは。看取った盲導犬は 250 頭。盲導犬のための老犬ホームの運営に、28 年に渡りかかわってきた著者が、老犬ホームの暮らしを語る。

著：辻恵子（つじ・けいこ）

発行：あすなる書房

本体価格：1300 円（税別）

ISBN：978-4-7515-2769-6

▼『イラストでわかるはじめてのインクルーシブ保育

保育場面で考える 50 のアイデア』

障害のある子ども、気になる子ども、外国にルーツをもつ子ども…。幼稚園・保育所の具体的な事例を紹介し、子どもたちの「多様性」を前提にするインクルーシブ保育の視点からイラストつきで解説を加える。

監修：柴崎正行（しばざき・まさゆき）太田俊己（おおた・としき）

発行：合同出版

本体価格：1600 円（税別）

ISBN：978-4-7726-1238-8

（編集後記）

ISO（国際標準化機構）と IEC（国際電気標準会議）の規格作成のルールブックである ISO/IEC 専門業務用指針（規格案作成の手順や規則を規定する第 1 部と、規格案で使用する用語や表現方法を規定する第 2 部に分かれています）の 2016 年度の改訂が 5 月 1 日に行われました。

第1部の重要な変更は新業務項目提案（新たな規格案の提案）に使用する提案用紙である様式4が電子化されることです。（用紙の入力をウェブ画面で行うことで、新業務項目提案の投票などに連動していきます。）

第2部の変更は「引用文書」と「用語及び定義」の章が必須となり、その規格で実際に参照すべき他の規格や定義すべき用語がないとしても、これらの章を記載することになりました。

この他にもいろいろな変更点があるため、5月18日と26日にISOのウェブ会議による説明会が開催されました。（松岡光一）

共用品推進機構公式サイト <http://www.kyoyohin.org/>

共用品ニュース（ブログ） <http://www.kyoyohin-news.org/>